



みなみっ子

45号

学校教育目標

自立

協働

創造

令和8年7月24日(金)

南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

夏休み課題について 図画工作編 注意! 必ずお家の人と確認・相談してから取り組んでね!!

キットを使わずに身近な材料でつくる図画工作は、「これ、何に見えるかな?」「どう組み合わせたら面白いかな?」という工作本来のワクワク感や、工夫する力(創造力)を育む絶好のチャンスです!小学生の夏休みの課題にぴったりで、作っても遊んでも楽しいアイデアを学年別にいくつか提案しますね。

1 身近な材料のアイデア宝箱 家の中や散歩先で集められる材料をチェックしてみましょう!

廃材・容器:段ボール、トイレットペーパーの芯、ペットボトル、キャップ、牛乳パック、卵パック、プリン空き容器

自然の素材:拾ってきた枝、松ぼっくり、どんぐり、貝殻、平らな石

その他:割り箸、輪ゴム、ストロー、使わなくなったら色紙や布のきれはし

2 おすすめの工作アイデア

①【低学年～中学年向き】空き箱やペットボトルの「ふしぎな生き物・街」完成したあとも遊べる&飾れる、自由度の高い工作です。

材料:牛乳パック、トイレットペーパーの芯、空き箱、ペットボトルキャップ、絵の具や折り紙

作り方のヒント:牛乳パックを切ったり組み合わせたりして、自分だけの「モンスター」や「ロボット」を作ります。キャップを「目」や「ボタン」に見立てたり、トイレットペーパーの芯を「手足」にしたり。いくつか作って並べれば「未来のまち」や「秘密基地」にも大変身!

②【全学年向き】拾った枝や石の「自然アート(ストーンペイント・枝のフレーム)」散歩で集めた素材を使うと、夏の思い出も一緒に形に!

材料:平らな石、落ちていた木の枝、麻ひもや糸、アクリル絵の具(またはポスカなど)

作り方のヒント:ストーンペイント 石の形をじっくり見て「何に見えるか」リアルな魚、おいしそうなパン、動物の顔等を絵の具で描いてみる。

枝のフォトフレーム:拾ってきたための枝を組み合わせで四角をつくり、ひもで固定。貝殻や松ぼっくりを貼り付けければ、夏の写真を入れる素敵な額縁になります。

③【中～高学年向き】段ボールと輪ゴムの「手作りコリカラビー玉ピタゴラ装置」仕組みを考えて調整する楽しさを味わえる作品です。

材料:浅めの段ボール箱、トイレットペーパーの芯、割り箸、輪ゴム、ビー玉

作り方のヒント:段ボールの底を「盤面」にします。ペーパーの芯を半分に切ってトンネルにしたり、割り箸を斜めに貼ってコース(坂道)を作ります。輪ゴムをピンと張ってクッション(弾むポイント)にするのも面白い!最後に「スタート」から「ゴール」までビー玉が止まらずに転がるかテストしながらコースを微調整します。

3 楽しんでつくるためのワンポイント

「正解」をつくらない:お手本通りに作る必要はありません。「なんだかヘンテコだけど面白い!」が大正解です。

キャプション(説明カード)をつける:作品の横に「作品のタイトル」「工夫したところ」「大変だったところ」を書いたメモを添えると、学校での展示のときにアピール度が一気にアップします!おうちにある材料を見回してみて、お子さんが「これ、使ってみたい!」と興味を持った素材からスタートしてみてくださいね。

身近な材料が宝物に!

ワクワク図画工作ガイド

想像力を形にする3つの工作アイデア

廃材で作る「ふしぎな生き物・街」

牛乳パックやキャップを組み合わせて、自分だけのモンスターや未来の街を作ります。

自然素材の「ストーンペイント」

拾った石の形から「何に見えるか」を想像し、動物や食べ物を自由に描きます。

仕組みを考える「ビー玉ピタゴラ装置」

段ボールと輪ゴムを使い、ビー玉が止まらずに転がるコースを試行錯誤して作ります。

作品をより輝かせる「楽しむコツ」

「正解」のない自由な発想を大切に

お手本通りではなく「ヘンテコだけど面白い」を大正解として、工夫を楽しみます。

「説明カード」で作品の魅力をアピール

タイトルや工夫した点をメモに添えると、学校の展示で注目度が上がります。